OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	英語母語話者のスタイル切換え
Author(s)	橋本, 貴子
Citation	阪大社会言語学研究ノート. 2002, 4, p. 94-113
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/23194
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

『阪大社会言語学研究ノート』第4号（2002年3月）94-113

英語母語話者のスタイル切換え

橋本 貴子

1. 調査の概要

1.1. インフォーマント情報

〔表 1〕

	出身地	母語	年齢	日本語学習歴[*1]／居住歴	専門	職業(学年)
EA	アメリカ	英語	23-24	国で1年、来日後10ヶ月	スペイン語	学生B4
FC	フランス	仏語	23	国で3年、東京で1ヶ月、来日後10ヶ月	歴史、貿易	修士修了、学生
CF	台湾	中国語	27	国で主専攻として6年、来日後4ヶ月	日本語	学部卒、研究生
JC	高知県	日本語	21	0-18:高知県 18-:大阪府	ロシア語	学生B3
JF	兵庫県	日本語	27	0-18:兵庫県 18-:大阪府	日本語	院生D2
JT	山形県	日本語	42	0-18:山形県 18-24:東京都 24-:大阪府	日本語	助教授

*1 日本語非母語話者の日本語会話のレベルについて、EAはOPIテストで中級の上という判定を2001年6月に受けている。FCはEAとほぼ同じレベル、CFは上級レベルであると考えられる。

1.2. 談話情報

〔表 2〕

	話者	話者間の関係	収録時間	談話の展開[*1]
対NNS親	EA－FC	対日本語非母語話者(親)	39分	EAが多く発話
対NS親	EA－JC	対日本語母語話者(親)	43分	二者ほぼ同量の発話
対NNS疎	EA－CF	対日本語非母語話者(疎)	40分	二者ほぼ同量の発話
対NS疎	EA－JF	対日本語母語話者(疎)	33分	JFが質問、EAが答える
対NS教師	EA－JT	対日本語母語話者(教師)	26分	JTが質問、EAが答える

*1 《対NNS親》では語学の教え方、《対NNS疎》ではゲームについてというように、《対NNS》の場合ではひとつの話題について長く話すことがあるが、対NS場面では話題がめまぐるしく変わった。

2. 結果および考察

2.1. 自称詞

2.1.1. 結果

〔表 3〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS疎	対NS教師
ワタシ系[*1]	-	-	27	19	18
ボク	-	1	-	-	-
オレ	44	38	-	-	-

*1 「アタシ」2例を含む。

2.1.2. 解釈

(a) 《対親》の場面で「オレ」、《対疎》で「ワタシ」と親疎で使い分けている。

(b) 「ボク」は冗談で用いられたようだが、詳しい状況は不明である。しかし、「すみません」といっしょに使って、笑いをとっていることなどから「オレ」よりフォーマルだという意識がありそうである。

〔1〕

463JC:もっと ちっちゃいの ある?

464EA:ちょっと、ど、どこの?

465JC:ちょっと、ろく (二人で地図を見ながら場所を捜していて、身体があたったか。)

466EA:お、おれ、おれ、

467JC:ごめん ごめん。

→468EA:ぼく?

469JC:{笑}

→470EA:{笑}すみません。{笑}

471JC:{笑}これ これ これ。

472EA:しばかないで。

473JC:これだ、扇町、おい、しばかないで? 〔対 NS 親〕

2.2. 対称詞

2.2.1. 結果

〔表 4*1〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS疎	対NS教師
(相手の姓)サン	-	-	2	-	-
(相手の名前)	4	4	-	-	-

*1 代名詞「アナタ系」は《対 NS 親》の引用中に 2 例現れた。「キミ」はなし。

2.2.2. 解釈

(a) 《対親》では名前を用い、《対疎》では姓に「サン」をつけて用いるというカテゴリカルな切換えを行っている。

(b) 《対 NS 疎、対 NS 教師》で「相手について言及しない」のは「(相手の姓) サン」よりさらに高いスタイルなのかもしれない。ただし、インタビュー形式という談話の流れの影響や名前を覚えられなかったのではという可能性もぬぐいきれない。条件をそろえての再調査が必要な項目である。

(c) 対称詞「アナタ」は日本語ではあまり使うべきではないと考えているのか、面前の話し相手に対しては一度も用いられなかった。ただし、引用中では次のように使用されている。

〔2〕(カズヤは EA がアメリカで出会った友人で、今は家族と大阪に住んでいる。EA が大学の寮を出たあと、彼の家で世話になるという話が持ち上がっているが、EA はあまりその話に乗り気でない。カ

ズヤの母はEAが困っているのなら、飛行機代も出してあげようと言っている。)

276EA:だから、彼女(カズヤのお母さん)に「あ、これ(EAの飛行機代)、払って くれって くださ
→ い。 それに、あー、あなたたちと 住むこと しな、あの、住まない」(JC:うーん) といえば、
それは だめじゃない? ほんとに 彼女にとって。 〔対NS親〕

〔3〕

284EA:んー、えっと、へんな 状態 あった。(JC:うん)で、あ、カズヤと いう 友だちは (JC:う
ん)帰る ことが できない、できなく なった。で、お母さんは、え、おれの アメリカの お母さ
→ んは、「あなたの ために 払って あげるよ。」(JC:ふーん)で、カズヤは 日本に 帰った。
〔対NS親〕

〔2〕はカズヤの母に対するEA自身の仮想の台詞、〔3〕はEAの母がカズヤに言った英語の台詞であろうが、どちらも英語からの直訳のようである。ここで、「アナタ」が現れた理由としては、何人もの人物が出てくる複雑な説明であるため、発話をモニターする余裕がなくなっている、また、普段英語で話しているカズヤと関わる話題であるため、英語の影響を受けたといったことが考えられる。

2.3. 親族名称

2.3.1. 結果

〔表5[*1*2]〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS疎	対NS教師
オトウサン	-	1	-	1	-
オカアサン	-	4	-	3	-

*1 一般的な概念を指すものや、他人の親族は除いた。
*2 「チチ・ハハ」は1例も現れなかった。

2.3.2. 解釈

(a) 親族名称については本来《対疎》場面では「オトウサン、オカアサン」ではなく「チチ、ハハ」に切換えるべきなのだろうが、EAはそれを行っていない。

(b) フォローアップインタビューでは、「チチ、ハハ」は習ったことはあるが、すっかり忘れていたと言っていた。運用レベルにまで達していない項目と言える。

2.4. 原因・理由

2.4.1. 結果

〔表6[*1]〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS疎	対NS教師
接続助詞 カラ	16 (38.1)	11 (26.8)	34 (68.0)	51 (81.0)	24 (66.7)
接続詞 ダカラ	26 (62.0)	30 (73.2)	16 (32.0)	12 (19.0)	12 (33.3)

*1 「ノデ、ナノデ」は1例も現れなかった。

2.4.2. 解釈

(a) 「ノデ、ナノデ」も理解語彙ではあるようだが、「カラ、ダカラ」のみを使用している。「ノデ」と「カラ」を同じ機能の形式と考え、同じなら 1 つで十分だと考えているためであろう。

(b) 《対親》場面になると、接続詞「ダカラ」の比率が上がるのは、短い文を多用するためかもしれない。また、《対親》ではモニターが緩んでいるのか、「ダカラ」と言ったあとの論理的整合性に無頓着な感があり、一つのことを言うために言い直さなければならなくなることが多く、それも接続詞の増える原因かと考えられる。

〔4〕

101JC:新学期？ 新しい？

102EA:えー、実は それは 8月からだ、けど、(JC:うん)8月に 帰りたくなかった。(JC:うん)も、8月、え、ほんとに 新学期に、ん、じゅうぎょう[授業] とりった、から じゅうぎょう とりったかったら、(JC:うん)えっと、(JC:7月)今、帰る。(JC:ふーん)でも、帰りたくない。(JC:ふーん)

→ だから、で、ここで、ここで たくさん 学べるよ、(JC:ふーん)日本語について。でも、アメリカに いる ときは、授業 とっても そんなに 学んでいない。

103JC:あー

→104EA:だから、ほんとに ここの ほうが いいと 思う。 〔対 NS 疎〕

2.5. 逆接

2.5.1. 結果

〔表 7 接続助詞〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS疎	対NS教師
(丁寧体)ガ	-	-	52	38	30
(丁寧体)ケド系*1		-	-	2	1
(非丁寧体)ケド	17	20	-	-	-

*1 《対 NS 疎》に現れた 1 例のみが「ケレドモ」で、それ以外は「ケド」である。

〔表 8 接続詞〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS疎	対NS教師
シカシ	-	-	4	-	-
デモ	17	55	22	14	13
ダケド	21	-	-	-	-
ケド	-	1	-	-	-

〔表 9　接続助詞と接続詞の比率〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS疎	対NS教師
接続助詞	17 (30.9)	20 (26.3)	52 (66.7)	40 (74.1)	31 (70.5)
接続詞	38 (69.1)	56 (73.7)	26 (33.3)	14 (25.9)	13 (29.5)

2.5.2. 解釈

(a) 接続助詞「ガ」は丁寧体と結びつくその性質上、《対疎》場面でのみ使用されるのも当然と言えるが、EA の場合、接続助詞「ケド」も、連続的ではあるが、切換えの対象となっている。「ケド」は主に非丁寧体に結びつくようで、《対疎》場面でほとんど現れなかった。

(b) 接続詞「シカシ」は用例が少なく、はっきりしないが、《対疎》場面にだけ現れるような切換えが行われている可能性がある。

(c) 接続詞「ダケド、ケド」は《対親》場面でのみ使用されており、接続助詞「ケド」の結果などと考え合わせても、切換えの対象となっている可能性が高い。ただ、どちらの形式も一つの場面でしか現れていないため、はっきりしない。また、《対 NNS 親》の談話はそれ以外の談話の収録より遅れて行われたことから、そのインターバルの期間に接続詞「ダケド」を習得した可能性がある。それ以前の談話で現れていないのはそのためかと思われる。

(d) 逆接についても原因理由と同様、《対親》で接続詞が多くなり、《対疎》で接続助詞が多くなる。《対疎》では前置きが多くなりがちなのに対し、《対親》では短い文を多用することと関わっていると考えられる。また、《対親》では原因理由も含めて接続詞が連続して使用されるケースが目立った。やはり《対疎》とではモニターのかかり具合に差があるのかもしれない。

〔5〕

125EA:ちがう。自分の こと できないから。

126FC:そうそう

127EA:自分の、んー

128FC:ま、気に しな、気に しなくても いいかも。

→129EA:でも、自分の 教科書とか 持っていくのは 大丈夫。(FC:あ、そう)だから、それを すると思う。ちょっと、その ほうが やさしいかもしれない。これは 一つの、えと、教科書 習いて[習って]、その教え方 もっと やさしいと 思う。だから、そう するだろ。だけど、ま、まだ なんか 選んでいない。(FC:うん)だから、それも するつもり。で、ちょっと、お、あの、だけど、ちょっと 心配。　〔対 NNS 親〕

2.6. 強調表現

2.6.1. 結果

〔表 10[*1*2]〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS疎	対NS教師
スゴイ[*3]・スゴク	1	-	2	1	4
メッチャ系[*4]	13	11	-	-	-

*1 親疎を問わず、「ホントニ」を使っての強調も観察された。ただし、他の形式と等価とは言えないため、表には挙げない。
*2 「トテモ系」は 1 例も現れなかった。
*3 「スゴイ」は副詞的用法のみで、形容詞的用法は含まない。
*4 「メッチャ系」には「メッチャメチャ」などの反復形が含まれ、反復形は繰り返しの回数に関係なく、1 例としている。

2.6.2. 解釈

(a) 《対親》場面でのみ「メッチャ」が現れ、切換えの対象となっている。他の方言形式は数も少なく、《対 NS 親》場面でしか出なかった（**2.15.** (1) 参照）が、「メッチャ」は《対 NNS 親》場面でも多く現れている点が注目される。

(b) EA の話によると「トテモ」は教科書的で気持ちをこめにくいとのこと。

2.7. 真偽の問い返し

2.7.1. 結果

〔表 11〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS疎	対NS教師
ホントニ？	1	9[*1]	2	-	-
ウソ！	6[*2]	4	-	-	-

*1 単独発話でない「ホントニそんなこという？」という例を 1 例含む。
*2 「ウッソ！」1 例を含む。

2.7.2. 解釈

(a) 《対 NS 疎、対 NS 教師》の談話はほとんど相手からの質問に答える形で進んでおり、あまり相手の話を聞く機会がなかったために、「ホントニ？」という発話が出現しなかったという考え方もできる。だが、ここでは《対親》のみで使用するという切換えが元にあるのではないかと考えたい。というのは《対 NNS 疎》の 2 例がどちらも談話の終わり近くで、話も盛り上がっているところで現れており、初対面とはいえ、打ち解けた雰囲気になっていたと考えられるからである。切換え対象項目でありながら、談話の途中でそれに変化が生じた例と言えるかもしれない。

(b) 「ウソ！」は《対親》でのみ現れ、親疎で使用・不使用の切換えを行っている。

2.8. 応答詞およびあいづち

2.8.1. 結果

〔表 12　応答詞[*1*2]〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS親	対NS教師
ハイ系	-	-	30	24	14
エエ	-	-	-	-	2
ウン系	3	17	-	5	4
ウウン	-	1	-	-	-

〔表 13　あいづち[*1*3*4]〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS親	対NS教師
ハイ系	-	-	33	9	6
エエ	-	-	1	-	-
ウン系	51	54	16	5	3
ソーデスカ	-	-	14	5	-
ソー系	11	10	3	5	-

*1 「ハイ系、ウン系、ソー系」には反復形が含まれる。反復形は何度反復しても 1 として計算した。
*2 直前に相手の質問文がある場合を、応答詞とした。
*3 思いつきや納得、言いよどみのようなものは除外した。
*4 「ソーデスネ」は言いよどみが 1 例あったのみ。

2.8.2. 解釈

(a) 「ハイ」は《対疎》の場面でのみ現れているが、「ウン」は《対親》だけでなく《対疎》場面でも見られ、カテゴリカルな切換えとはなっていなかった。応答詞とあいづちを分けることでちがいが出るかと考え、分けてみたが、あいづちの「ウン」が連続的な切換えに見える程度で、他には大きなちがいが見られなかった。《対疎》場面での応答詞「ウン」はかなり数があるが、それほど失礼だという印象はないので、《対親》で現れたものと音調や音色を比較する必要があるかもしれない。

(b) 「エエ」は出現数が少ないが、《対疎》でしか現れておらず、切換えの対象となっている可能性が高い。

(c) あいづちの「ソーデスカ／ソー」についても、あいづちの「ハイ／ウン」と同様の切換えで、スタイルの高い形式は《対親》には現れないが、スタイルの低い形式は連続的な切換えとなっている。

2.9. 否定条件の縮約

2.9.1. 結果

〔表 14[*1*2]〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS疎	対NS教師
ナケレバ～	-	-	-	6	4
ナクテワ～	-	-	-	-	1
ナキャ～	1	10	2	2	2
ナキャ。	-	3	-	-	-

*1 「(行か) ナケレバ (ならない)」のような義務表現の「ナケレバ」にあた

る形式のみをとりあげた。「お金がなければ困る」のような例は含まない。
*2 「ナイト（いけない／ならない）」という形式は1例も現れなかった。

2.9.2. 解釈

(a) EA自身は「ナケレバ～」を丁寧な形式、「ナキャ～」はくだけた形式と位置付けているようであるが、普段よく口にする「ナキャ～」が《対疎》の場面でも現れており、連続的な切換えとなっている。

〔6〕

022EA:ちょ、あ、はい、それは ふっつう[普通]の 大学生にとって。あ、えーと、んー、アメリカの場合は 日本と だいぶ 違うと 思います。えーと、うん、そんなに 決めていません

→ (JT:うん) から、えっと、ちょっと、とらなきゃ い、いけません、あ すみません。とらなければならない 授業が あって、(JT:うん)ん、その授業は、えーと、全部 とった あとは 卒業できます。 〔対NS教師〕

(b) 「ナキャ。」は例が少なくはっきりしないが、《対親》の場面でのみ使うというように、カテゴリカルに切換えている可能性が高い。

2.10. その他の縮約

2.10.1. 結果

〔表15[*1*2*3]〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS疎	対NS教師
テイル	3	17	31	16	7
テル	3	5	7	-	4

*1 活用形はすべてカウントした。
*2 「～テシマウ」は対NNS疎に1例現れたが、「～チャウ」はまったく現れなかった。
*3 「テイク」「テク」は1例も現れなかった。

2.10.2. 解釈

(a) 「テイル」と「テル」は、スタイルとは連動していないようである。

(b) 「～チャウ」「～テク」については、縮約まえのもとの形式も十分に運用できるほどには習得していないようである。

2.11. 格助詞

2.11.1. 結果

〔表16 ヲ格[*1*2*3]〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS疎	対NS教師
ヲ	3 (11.1)	2 (8.7)	4 (13.3)	1 (12.5)	4 (30.8)
φ	24 (88.9)	21 (91.3)	26 (86.7)	7 (87.5)	9 (69.2)

〔表 17　ガ格[*2*4]〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS疎	対NS教師
ガ	40 (66.7)	35 (70.0)	24 (58.5)	28 (82.4)	31 (88.6)
φ	20 (33.3)	15 (30.0)	17 (41.5)	6 (17.6)	4 (11.4)

*1 母音/o/で終わる名詞に後続する（はずの）「ヲ」は使用・不使用の判定が困難なので省いた。
*2 「水φ　飲みたい」「水φ　飲める」のようにガ格・ヲ格両方に解釈できるものは対象としなかった。
*3 「ヲ」には定型表現の「実をいえば」が各談話それぞれ 1、8、10、0、2 例、含まれており、それが大きく結果を左右するのでは分析に不都合なため、除外した。
*4 「ガ」には定型表現の「～ほうがいい」が各談話それぞれ 10、4、5、1、2 例、含まれていたため、これも*3 と同じ理由で除外した。

2.11.2. 解釈

(a) ヲ格が脱落する割合は《対 NS 教師》だけ他に比べてが低く、ガ格の脱落は《対 NS 疎》と《対 NS 教師》の割合が低くなっている。連続的なスタイル切換えであるが、《対 NS 教師》だけにガ格ヲ格とも差が現れるのは興味深い。

2.12. 丁寧形式

2.12.1. 結果

〔表 18[*1*2*3*4*5*6]〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS疎	対NS教師
丁寧体	-	1	317	265	172
非丁寧体	285	340	30	27	11

*1 文末と節末（談話で丁寧・非丁寧の対立が起こり得る接続助詞「カラ・ケド」の前）の形式を合算した。
*2 中途終了発話で、相手の発話にさえぎられたものや文末がはっきりしないものは含まない。
*3 非丁寧体には名詞のみの発話や助詞で終わっている発話が含まれている。
*4 あいづちの「そう」の反復形は丁寧体になり得ないので除いた。
*5 「えっとですね」はフィラーとし、丁寧体には含まない。
*6 引用や言い直しは数に含まない。

2.12.2. 解釈

(a) 丁寧体は《対親》場面でほとんど現れず、もっぱら《対疎》用と位置付けられているようだが、非丁寧体は数は減るが《対疎》でも現れ、連続的な切換えとなっている。これは応答詞、あいづちの「ハイ／ウン」の関係と似ている。

(b) 《対 NS 親》で見られた丁寧体 1 例は「すみません」で、2.1.の「ボク」と同様、少しふざけた発話である（談話例〔1〕参照）。EA の場合は唯一の例外となっているが、NS の場合は丁寧体の使用も非丁寧体同様、もう少し緩やかなもので、状況によっては《対親》で丁寧体が出ることもおおいにありうると考える。しかし、これを習得の問題とするには、必要性の点で疑問が残る。

(c) 現段階で EA は丁寧形式をなんとか規定どおりに切換えようとしているレベルなのだと考えられる。表中に含まれていないが、丁寧形・普通形（連体修飾節や心内発話を含むため、ここでは「～形」とする）をその場その場で切換えなければならないようなところでは、切換えがうまくいかないことがあった。下に例を紹介する。

(c-1)《対 NNS 親》で英会話学校の上司のことばの引用でしばらく丁寧体を使っていて、地の文まで丁寧体になってしまい、言い直している。

〔7〕

121EA:で、おれは、「あ、だ、だめですか」、彼女（英会話学校の上司）は 「あ、だ、だめじゃ、
じゃないんですが、ちょっと 最初ですから、ちょっと ふつうの、あの、紹介する ほうが
いいですよ。で、もし 紹介したあとで、えと、もし 時間が あれば、で、その、なんか
感じは、ちょっと、ちょっと 授業の 感じ、人の やりたい ことは そんな 文法だったら、
する ほうが いいですよ。」と言った。だから、彼女の 言った ことは、わ、あの、おれ、
おれ、ちょっと これは 新しいから、おれ、生徒に 紹介する ほうが いい。(FC:うん)で、
→ この最初の 授業は、と、ふつうの こと しない ほうが いい かもしれません、かもしれない。 〔対 NNS 親〕

(c-2)《対 NS 疎、対 NS 教師》で連体修飾節を丁寧形にするという過剰修正が見られた。《対 NS 教師》は〔6〕を参照。

〔8〕

→030EA:えっとね、アメリカの 場合は ちょっと、そんなに 決めていませんが、とr、とらなければ、
あ、行けません 授業が いっぱいですから、えっと、んー、ふつつー[普通]の 学生は
(JF:ええ)4 年間で 卒業できません。 〔対 NS 疎〕

(c-3)《対 NNS 疎》ではずっと丁寧体を使っていて、心内発話にまで丁寧形が現れた。

〔9〕

462EA:えっと、あ、しかし、実を いえば、えっと、ときどき、えと、日本、アメリカに いる 場合は
日本語の 授業 はじめて、えと、ちょっと、日本の ゲームとか 日本語の ゲームを ちょっ
→ と 買うと おもしろいですねーと 思っていて、インターネットで 買いました。 〔対 NNS 疎〕

(d) この段階の中間言語の特徴かと思われるが、EA の発話は文末がたいへん明解であった。NS の場合は最後まで言わずに「～て…、～んで…」のように途中で止めて、「デス、マス」の使用を回避することもあるが、EA の場合はそれがほとんど見られなかった。

2.13. 間投助詞

2.13.1. 結果

〔表 19　間投助詞〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS疎	対NS教師
ネ	10	17	2	2	-
(内訳)					
えっと(です[*1])ネ	-	4	2	2	-
あのネ	4	2	-	-	-
～はネ	6	10	-	-	-
〈接続詞〉ネ	-	1	-	-	-

*1 「えっとですネ」は《対 NNS 疎》で 2 例、《対 NS 疎》で 1 例見られた。

2.13.2. 解釈

(a) 間投助詞「ネ」は《対親》でより多く現れており、連続的な切換えと言える。

(b) EA の間投助詞「ネ」の使用はフィラー（えっと、あの）に付くものと、助詞「は」に付くものとに大別できるが、《対疎》場面で現れたものは、「えっと（です）ね」のみだった。また《対親》場面で、「に」や「と」など他の格助詞との共起が現れなかったことも興味深い。習得途上の一段階という見方もあるが、つければいいというものでもないので、ある文体の使用実態と見ることもできる。NS の使用するさまざまな文体レベルと比較できれば、さらに考察が深まると考えられる。

2.14. 終助詞

2.14.1. 結果

〔表 20　終助詞[*1]〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS疎	対NS教師
ネ	2	9	32	6	1
ヨ	7	40	18	3	2
ナ	6	12	-	-	-
カナ[*2]	4	5	1	1	-

*1 とくに断りがない場合は《対親》で非丁寧体、《対疎》で丁寧体につく。
*2 《対疎》場面のものも非丁寧体につく。

2.14.2. 解釈

(a) 終助詞「ネ、ヨ」については、《対親》場面で「ヨ」が「ネ」より多くなり、《対 NS 教師》を除く《対疎》で、その逆ということが言える。これは、二つの形式の機能のちがいと関係していると考えられるが、談話によって出現数に大きなばらつきが見られることから、話題による影響も大きいと考えられる。これらの項目の連続的な切換えを明らかにするには、それぞれの機能の吟味はもち

ろんのこと、話題や発話量の調整が必要であろう。

(b) 「ナ」は一般的に非丁寧体と共起するため、《対親》でのみ現れ、《対疎》では現れていないと考えられる。

(c) 「カナ」も「ナ」と同様、一般的に非丁寧体と共起する。しかし、EA は《対親》場面のみで用いるのではなく、《対疎》場面でも用いており、連続的な切換えとなっている。《対疎》場面での用例を次に挙げる。

〔10〕

330EA:ん、うん。えっと、アメリカの 場合は、とくに、え、なんという、にほん、日本語のは エバーク

→ エストかな。(CF:{笑})エバークエストは、えーと、ほんとに、一回 したら、(CF:はい)何回 か したくなると いわれました。 〔対 NNS 疎〕

〔11〕

014EA:えっと、専門は スペイン語ですが、(JF:ええ)っと、副専門は 日本語です。

015JF:はー、(EA:はい)じゃ、日本語と スペイン語と 英語が 話せますか。

→016EA:えー、{笑、笑}話せるかなあ。えっと、んー、スペイン語は、えーと、このごろ、とくに このごろ は、ちょっと 下手に なりました。 〔対 NS 疎〕

どちらもひとりごとのようでありながら、聞き手を意識した巧みな発話で、杓子定規な切換えから一歩進んだものではないかと考える。

2.15. その他の形式

2.15.1. 方言形式

EA は方言形式はあまり使用しないが、相手の JC が関西方言を使う《対 NS 親》では、アコモデーションともいえる方言形式が現れた。JC は高知県の出身であるが、大学では関西方言で友人たちと話しているようである。

〔12〕

561JC:「一度だけ、一度だけ 君の そのほほを、娘を 奪って行く 君の ほほを なぐらしてくれ」

562EA:うばっていく?

563JC:そうそうそう。

564EA:うばっていく、は どう いう 意味?

→565JC:うばう、うばう、わからん?

→566EA:わからん。 〔対 NS 親〕

この例以外は直前の発話を受けたものではないが、「知らん、わからん」が 5 例、「そやね」が 1 例あった。だが、同談話内に、標準語形式の「知らない、わからない」も 5 例あり、方言形式と標準語形式が状況や話題に関係なくランダムに現れていた。このほか、語彙の例では 2.6.で扱った「メッチャ (《対親》の 2 場面で出現)」や談話例〔1〕に出ている「しばく」(《対 NS 親》で 1 例のみ) も方言形式と言える。

2.15.2. 「マセン」vs.「ナイデス」

最近、否定の丁寧体で「マセン」を使わず、「ナイデス」を使う傾向がNSの若年層の間で目立ち、スタイル差があるとも言われているが、EAにその影響は全く見られなかった。すべての《対疎》場面で、ほぼ日本語の教科書どおり、形容詞には「ナイデス」を使い、動詞・形容動詞・名詞には「マセン」を使用していた。

〔表21〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS疎	対NS教師
マセン系*1	-	-	35	33	37
ナイデス系*2	-	-	5	2	1

*1 「ませんでした」を含む。「すみません」は定型表現として除いた。
*2 「なかったです」を含む。「ないんです」は次項で取り扱うため除いた。
「上手じゃないです」1例を除いて、すべて形容詞の例であった。

2.15.3. ノダ文

「ノダ」文は各談話それぞれ1、3、5、6、3例見られたが、切換えの対象となっているとは考えにくい。むしろ、その共起関係から習得レベルの問題が垣間見える。

〔13〕

→464EA:えと、でも、ふつうの ゲームは、か、買った ゲームは、えと、日本語の バージョンなんでした[だったんです]が、ちょっと、えっと、ほんとに 日本の バージョンじゃありませんでした。中国で 売る バージョンでした。 〔対NNS疎〕

「ノダ」が接続する直前の用言の時制を見てみると、すべて非過去であった。また、全18例中「ケド・ガ」が後接するもの(「〜んだけど・〜んですが」)が12例で、一つのパターンとして定着しているようである。「〜んです。」3例、「〜んですよ。」2例のほか、次のような例があった。

〔14〕

195JT:卒業してから、何か 仕事を したいと いう 希望は あるんですか。

196EA:んー、えっと まだ、決めていませんが、ほんとに 日本語、日本語 ほんとに ぺらぺらに

→ なりたいですから、ちょっと、日本語一、ちょっと、関係な こと したいです。今は あまり 上手じゃないんですから、それは やっぱり 無理ですが、えっと、卒業して、ん、ここに 帰って、もしできれば、大学院生、生に なるかもしれません、日本で。 〔対NS教師〕

ここでは「上手じゃないんですから」より「上手じゃないですから」のほうが自然だろう。こういった言い回しは特に韓国語母語話者の日本語学習者に多いと感じていたが、英語母語話者であるEAにも1例のみではあるが現れるところを見ると、中間言語特有の表現なのかもしれない。ただ、EAは韓国人で仲のいい友人がいるとも言っていたので、その友人の発話の影響である可能性も否定はできない。

2.15.4. 素材敬語

《対 NS 親》の電話をかける場面の再現で現れた「EA と申しますが。」の 1 例のみであった。《対教師》場面でも「アメリカの方言について知っていますか」というように質問していて、尊敬語は現れなかった。EA 自身それについて自覚があるらしく、談話の最後で尊敬語が使えないことを詫びていた。

2.15.5. 「デハ」vs.「ジャ」

すべての場面で「ジャ」のみが使用され、「デハ」は 1 例も現れなかったため、切換えの対象となっていないと言える。今回の資料は談話だからかもしれないが、「ジャ」しか出てこないとなると、書きことばでも「ジャ」が幅を利かすのではないかという不安がよぎる。

3. まとめ

中間言語のスタイル切換えの場合、学習者の習得状況に大きく左右される。知識として持っているものと、実際に使い分けられるものとの間にはかなり開きがあった。親族名称の使い分けや素材敬語の使い方などは教室で習いはしたが、運用するレベルにまでは到達していなかった。また、初級後半の学習項目（「～ノデ（理由）」「～ノニ（逆接）」「～テシマウ、～チャウ」など）は教室できちんと学習する機会がなかったためか、ほとんど使用されていなかった。特に似た機能を持っている他の形式、「カラ（理由）」や「ケド（逆接）」などがある場合はそれですべて事足りているようで、あえて「ノデ」や「ノニ」を使う必要性を感じないようであった。

EA 独自のものとしては、接続助詞と接続詞の連続的な切換えが挙げられる。《対疎》場面で接続助詞が増えるのには、文の長さが関係しているようである。また、《対親》場面では、モニターがゆるむのか、接続詞の使用頻度が急激に上がる箇所もあった。今後、細かく検証する必要があろう。

EA のスタイル切換えは親疎関係がもっとも大きな軸となっている。そんな中で特に興味をひくのは《対教師》との差が見られた格助詞の脱落である。EA 自身が意識的であったとは思えないが、何らかの心的状況の現れなのであろう。

《対 NS》と《対 NNS》との差については、《対親》の中では方言形式の使用に関して差があったり、《対疎》では、対称詞や「ほんとに？」などの現れ方に差があったりしたが、どれも別の事情によった可能性があり、相手が NS か否かということの差だとは思えない。国際語としての英語の必要性が声高に叫ばれる昨今、英語母語話者であるということは、それだけで NS との接触を容易にする。アジアからの留学生が NS と話す機会になかなか恵まれないのとは対照的に、EA は NS との対話に慣れており、それが今回の結果にも現れているように思われる。

4. 展望

本稿の分析はたった一人の英語母語話者の学習者のものではあるが、どのような項目を教科書どおりきちんとマスターし、どのような項目をとりこぼしているのかということが浮き彫りになった。今後は NS の切換えと異なる項目、連続的な切換えを示す項目などに関して、その要因について細かく吟味する必要がある。同じ相手に対しても、話題や状況によって異なった切換えを示すことがあると考えていくべきであろう。

本稿では親疎関係がスタイル切換えに関わるもっとも大きな軸という結果が出たが、今回の収録では偶然《親》の話者がターゲットより年下、《疎》の話者が年上になってしまった。この年齢という要素も今回のスタイル切換えには関わっているかもしれない。また、NNS 同士の場合、日本語のレベル差も相手との距離に関わるように思う。自分よりもレベルの高い相手とは緊張して話すが、自分より会話のレベルの低い相手だとリラックスして話せるということがあるかもしれない。.

フォローアップインタビューで、EA 本人は英語の場合、相手が目上であれ、何であれ、改まった話し方をする人とは改まった話し方で返し、くだけた話し方で話しかけてきた人とはくだけた感じで話すと言っていた。そのため、先生と生徒の場合や先輩と後輩の場合のように、一方は丁寧体で話し、対するもう一方が普通体で話すというような会話に違和感を持つと言っていた。教師が親しげに学生と話すといった場面があれば、韓国語母語話者などとは大きく異なった結果が出る可能性がある。

中間言語のスタイル切換えには国での学習期間や日本での滞在期間が強く関わっているように思う。国では誰に対しても応用がきくよう、主に高いスタイルの形式を教室で習得し、来日後は日本語を使って親しい人間関係を築くために、むしろ低いスタイルを使いこなす必要性が高くなる。EA の場合は国での学習期間が 1 年、日本での滞在期間も 1 年弱という時期に収録を行ったが、今回のような調査を来日直後や日本滞在がさらに長くなったあとに行えば、その変化を見ることもできそうである。

はしもと　たかこ（大阪大学大学院生）
takako-h@mbox.kyoto-inet.or.jp

〔対 NNS 親〕

収録日時：2001 年 9 月 11 日
収録場所：EA 宅
話題：輸入食料品店 → 語学の教え方 → ある映画について

052FC：仕事は どー なった？
053EA：どー なった
054FC：じゅーぎょー[授業]の 方法 見つけた？
055EA：うん、じゅ なに？
056FC：え、じゅーぎょーは どー すれば いーとか、(EA：あー) 前に ど どー しよーか ＊＊＊
057EA：えっと、じゅ 授業とか？
058FC：うん
059EA：授業は ふつ
060FC：の やり方とか、そーゆー
061EA：あー そーそーそーそーそー えー、できる
062FC：教科書 使う？
063EA：教科書、あっと 使う、けど、あの ちょっと 好きじゃない ところ ある。あのね、そのところは、じぶ あの そのところは 自分の 教科書が ない。(FC：うん) その、ちょっと、なんか ある 人 前に 言ったけど、えっと、ときどき、ときどき、ときどき 教えている。で ときどき、なんか、えっと、教えなくて、おもしろいから。ある 人は (FC：えっ？) そんなに 英語を 学びたくないかもしれない。でも、ちょっと、ちょっと なんか、えっと、おもしろいから ＊＊＊している。だから その人は もし、まじめなー シートが あれば、ちょっと えー、つまらなくなって、あの なんか やる気が なくなる。この人は ほんとに、そんなに 英語を 学びたくないと 思う。で、ある人、そんな人、いる。で その場合は、あの、と、ときどき あるけど、えーと、その人は 何も したくない。
064FC：そーそー、め、だけど、それはめっ、絶対おかしーと 思う。だから、そー ゆー 生徒が、あの、外大生の 生徒。フランス語 教えてくれてー、と言われて、ま、ＯＫ、フランス語 教えよー、それで、その生徒は お金 ちゃんと 払った。＊＊、それなのに、なんか 全然 勉強しなくて、(EA：うん、{笑}) 何も やってな、かった。信じられないこと、それ。
065EA：うん、ちょっと、うん、で、この人は、なんか、おもしろい、あの、英会話の 先生と 話したい。
066FC：うっそー
067EA：ちょっと 冗談する。ポポポポポとか。で、あの、ふつーは そんなこと し、しよーとする、えと、普通の 授業で。なんか、もっと、例えば、えと、ほんとに まじめな授業でも、ちょっと冗談したら、あの、いー。あの (FC：うん) おれはね、あの ふつーの、A 大の 授業で、そんな 先生が 好き。えーと、
068FC：うん、わかる わかる。
069EA：だ、だけど、ある人は、ちょっと、会社だよ。だから、おれは、えとつまらなくて、みんなは、ちょっと、英語の 授業を、なんか (FC：そ) やめたら、
070FC：そーそーそー、困る。{笑}
071EA：困る、困る。おれの 仕事も (FC：お客さん) なくなる。で、前に 聞いたけど、ほかの、えっと、先生は、えっと、もし、生徒は先生 好きじゃな、じゃなかったら、ほかの先生、あの、なんか、えーと、たずねると言う？
072FC：あー、わかる
073EA：うん ほかの 先生は や…。
074FC：それは やっぱり 気をつけ＊＊＊
075EA：うん、絶対に、で それは、あの、だから、ちょっと、ほんとに 教科書が あって、えっと 今 こーして、次は これ、次は これ、次は これだったら、そのほーが いいと 思うけど、おれはね、えっと、もし、あの、まいつぎ 同じーの 授業 教えても、あの、もし そー しても、あー、生徒が 毎週 ちがうかもしれない。(FC：うん) だから えと 今週 これ やって、次は あの あの 来週 次の こと やるーのが、それ それは 無理。だから
076FC：生徒は どんな level？
077EA：生徒、い、た
078FC：ちゃんと 話せる？
079EA：うん ふつーは。あの もし
080FC：ぼ、ぼくのよーに？ か
081EA：え、英語で、(FC：うん) {笑}、全然。

〔対 NS 親〕

収録日時：2001 年 8 月 7 日
収録場所：EA 宅
話題：帰国の時期　→　9 月からのこと　→　バイトの探し方　→　恋人の両親と会うこと　→　結婚は遠いこと

686EA：おと　あ　あ　おとーさんは　さつき〈EA の彼女〉に、あとで　さつきと、とだけと話した　ときは　おれに　ついて。
687JC：いーこと　いったん？　（EA：うん）へー
688EA：よかったなー。でも　なーんとなく　ちょっと　こわいな　おれは　外人だから、なんか　もっと　こわい。
689JC：えー、日本の　おとーさん、も　いっしょやろ、アメリカの　おとーさんも
690EA：ほんとに
691JC：そら、厳しーやろ。
692EA：うん
693JC：そこを　なめてかかったら、こー、日本　日本に　嫁ぐ　む、ムコは、
694EA：うん
695JC：ムコって　わかる？
696EA：わかる
697JC：ムコ、ムコの、{笑} わからん
698EA：外人は　だめ？
699JC：え、そ、もー、そー厳しー、もーstrict strict だと　思って。ストリクト？
700EA：えっと、うん、そーそーそー。
701JC：strict だと　思っていーと思う。…結婚するんかな。さつきと
702EA：で、＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊。
703JC：{笑}
704EA：そんな　こと　言わないで。
705JC：{笑}
706EA：これはね、その、いｔ、2 年間ぐらい　そのことについて　話すよ。これは　2 か月後［まだ 2 ヶ月］だね。
707JC：あ、ほんまに
708EA：2 か月だけだよ。
709JC：{笑} なんの話や。
710EA：これは、そ　それは、早すぎる。めっちゃ早すぎる。
711JC：はいはい、まだ　早い？
712EA：でも、今の　場合は、えっと　ほんとに
713JC：毎日　うきうき
714EA：いー　いー、うん、「うきうき」　わからないけど、で
715JC：オーキドーキ
716EA：うんうん。で、関係は（JC：いーんじゃん）いー、だよ。よかったよ。あ、で、うん　絶対に　がんばって　その関係　続けたい。
717JC：ん
718EA：ん、でも、えっと、なんか、高速道路の　場合はね、なんか、{スーと息を吸って} えとね、鹿児島、
719JC：鹿児島？
720EA：鹿児島を　出て、（JC：うん）ちょっと　なんか　鹿児島　出て、北の　ほーに　行くと、（JC：うん）高速道路で。高速道路が　あるかな、あると　思う。（JC：うん）行ったこと　ないけど。（JC：うん）で、なんか、ちょっと、なんか　鹿児島から、もー、ひゃくキロ、なんか、は、80 キロ、もー　はなした。北（JC：へっ？）の　ほー。もーちょ　ちょっと　待って。これは　ちょっと例文　れ、（JC：例文？）あの、例　例問題　例だよ。（JC：ふん）でも、は　は　80 キロ（JC：ふん）走った。（JC：ふん）で、そこで　なんか、福岡とか　北九州、北九州の　標識　見ると　思う。（JC：ふん）北九州は、なんと、なんとかなんとかキロ。（JC：ふん）でもね、北海道の　標識　全然　見えない。北海道は　このぐらい（JC：うん）だね。
721JC：ううん
722EA：だから、さつき、おれと　さつきは　あと［まだ］2 か月、
723JC：あー、そーゆーこと、そーゆーこと、うん
724EA：なんか、えっと、うん
725JC：まんはっから、えっ、北海道が　ゴールなん？ {笑}
726EA：{笑}
727JC：え、北海道が　ゴールなん？
728EA：まあ、
729JC：{笑}
730EA：その方面、{カセットが止まる} おっ？　もう　なんか、でも　いーと　思う。その方面だよ。
731JC：もー　終わったんかな
732EA：でも、でも、みさと〈JC の彼女〉、と　結婚する？
733JC：わからんねー、おれ、おれも、そー　言わ

〔対 NNS 疎〕

収録日時：2001 年 7 月 17 日
収録場所：大学構内
話題：アメリカ → 食べ物 → ゲーム

303CF：趣味は 食べ物の ほかに、えっと、ゲーム！
304EA：ゲーム
305CF：ゲーム
306EA：えっと、どの ゲーム しますか。
307CF：今、あの、パソコンの ゲームで、あの、ever quest
308EA：あー、知っています 知っています。
309CF：知っていますか。はい
310EA：あの、やった こと ありませんが。
311CF：あー、毎日 やってますよ。{笑}
312EA：あ、そーですか。えっと、ん、それは、えと、わたしの 場合は ゲームも、えと、趣味ですが、えっと、パソコンは あまりしませんが、えと、その ever、ever quest (CF：はい、はい) やっぱり、ん、よく 知ってます。ちょっと
313CF：有名ですか。アメリカでも。
314EA：あ、ほんとに 有名ですよ。
315CF：あ、そーですか。
316EA：えーと、で、ほんとに ever クエスト すれば、
317CF：Ultima Online
318EA：ん？
319CF：あの U、O。
320EA：はい、Ultima はいはい、そーです。
321CF：Ultima Online
322EA:それ、それも ほんとに 有名 あります、
323CF：はい、それは おもしろいです。
324EA：有名ですね。
325CF：あきらめ？ あの、あきないですよ。いくら やっても、わたしの 場合は。
326EA：あー
327CF：いくら やっても やりたいですよ。
328EA：あ、あー
329CF：か、あのー、それは 大好きで 毎日 やるから、はい
330EA：ん、うん。えっと、アメリカの 場合は、とくに、え、なんとゆー、にほん、日本語のは エバークエストかな、(CF：{笑}) エバークエストは、えーと、ほんとに、一回したら、(CF：はい) 何回か したくなるといわれました。(CF：そー思いますね) そんなに おもしろいですから、(CF：はい) えっと、ちょっと、おか、えと、ある人は、ちょっと、つ、えと、おかしー 名前 いーました。ever que、ever quest 英語の ever quest (CF：ん) の これに、ever crack いーました。
331CF：あ、ever crack
332AE：crack、で、実を いえば、crack は とくに 悪い、(CF:そーですね) しと、まよく、まい、まい、え、(CF：悪い) 悪い 薬、なんと いーますか。
333CF：はーはー、そーそーそー
334EA：まい、まい、えーと、たんご
335CF：コケインみたいな、あの
336EA：はい、コケインで、ケ、コカインみたいな (CF：はい) ことです。
337CF：そーですね。
338EA：だから、ever crack と ゆーと、(CF：はい) ちょっと、(CF：そーです) 1 回 すれば、何回か、したく、なります。
339CF：よく わかっていますよ。
340EA：でも、ほんとに それは、いー ゲーム、げす、あの、
341CF：いーゲーム＊＊＊、
342EA：聞きました。
343CF：よく できたと 思いますよ。
344EA：うん
345CF：その、画面も すごく きれーだし、(EA：うん) その インターネットの、その、つ、つながりも、あの、ふつーの モデムでも行けるから。ふつーの モデム、あの、DSL じゃなければ 大丈夫ですから、
346EA：あ、そーです＊
347CF：ふつーの モデムで、あの、電話回線を かよっても、あの、すっごく、あの、なんとゆーか、りゅーちゅー [流暢] ですよ。あの、なんの その レック [lag] とか、ないから。
348EA：ん、ちょっと、これ、わからない 単語が入ってますが、(CF：あっ、はー) なんとなく わかると 思います。
349CF：あ、そーですか。
350EA：えっと、そんな、ゲームの 場合は、(CF：はい) えっと、ちょっと、なんと ゆー、モデムは (CF：はー) 遅くても いーです

〔対 NS 疎〕

収録日時：2001 年 7 月 16 日
収録場所：大学構内
話題：自己紹介 → 寮生活 → 車 → 日本語の授業 → 困ったこと → 日本国内の旅行 → ふるさとの町 → 東京

001JF：じゃ、あらためて、はじめまして。
002EA：はい、はじめまして。
003JF：JF です。
004EA：あー、EA です。
005JF：今は、学生ですか。
006EA：はいはい、学生です。
007JF：どこの 学生ですか。
008EA：えーと、A 大、あ、えっ、実は アメリカの？（JF：あっ）アメリカの 大学ですか。
009JF：えー。
010EA：えっと、んー、アメリカの、えっと、G 大学、の（JF：あー）学生なんですが、えっと、それに、っと、今 A 大で、えーと、1 年間の 留学してます。
011JF：あー、じゃあ、交換留学ですか。
012EA：はいはい、交換留学…。
013JF：はーはーはー。じゃ、G 大学で、の専門はなんですか。
014EA：えっと、専門は スペイン語ですが、（JF：えー）っと、副専門は 日本語です。
015JF：はー、（EA：はい）じゃ、日本語と スペイン語と 英語が 話せますか。
016EA：えー、{笑} 話せるかなあ。えっと、んー、スペイン語は、えーと、このごろ、とくにこのごろは、ちょっと 下手に なりました。あまり 練習していませんから、だから、もっと 勉強しなきゃいけません。
017JF：うーん。（EA：{笑}）日本語は いつから 勉強していますか。
018EA：えーと、日本語は、えーと、んー、今、こっとし［今年］の 8 月は 2 年間に なります。
019JF：はー、じゃー、大学に 入ってから。
020EA：はい。えー、えっ、実は 大学ー、入って（JF：えー）えっと、4 年生の ときは、えっと 日本語を はじめて 勉強しました。（JF：あー）だから、はい、アメリカの大学の 場合は、普通の 学生は、っ 5 年後、卒業しますから。
021JF：えー、えー。
022EA：このごろ。
023JF：はー、っか、じゃ、1 年生からは スペイン語…。
024EA：ははーい、えっと、いち、1 年生の 場合は スペイン語を とっていましたが（JF：えー）えっと、専門は まだ 決めていません。
025JF：あっ、そーなんですか。
026EA：えー、3 年生の とき、はい、3 年生の とき、スペイン語を 決め、（JF：へー）決めました。だから…。
027JF：はー、え、アメリカの 大学の こと よく 知らないんですけれど、5 年間ですか。
028EA：えっと、アメリカと 日本の 大学は だいぶ {少し笑いながら} 違います。
029JF：えー。
030EA：えっとね、アメリカの 場合は ちょっと、そんなに 決めていませんが、とｒ、とらなければ、あ、行けません 授業が いっぱいですから、えっと、んー、ふっつー［普通］の 学生は（JF：えー）4 年間で 卒業できません。（JF：はー）だから ある学生は 4 年間半、ある 学生は 5 年間で（JF：はー）卒業＊＊＊。わたしの 場合は、あの、ここに 来ましたから 6 年間{笑いながら、JF もつられて笑} に なります。それは とくに 長い {笑}
031JF：はーん。日本に 来たのは いつですか。
032EA：えっと、んー、それは 去年の 10 月でした。
033JF：去年の 10 月、で、1 年間のコース。
034EA：はい、1 年間です。
035JF：ふーん。
036EA：えーと、だからー、んー、今年の 9 月ーか、もし、もし できたら、えーと、ここに、12 月まで、（JF：えー）えーと、ここに いたいです＊＊
037JF：あー
038EA：まだ、それは、えっと、んー できるかどーか、まだ しりません。
039JF：んー、それは、どーしてですか。奨学金？
040EA：えーっと、んー、えっと、ほんとに 奨学金とか、あ、お金の 問題です＊
041JF：あー、
042EA：と、お、奨学金は 8 月までですから。{笑}
043JF：えー、あ、じゃあ、8 月から 12 月までが
044EA：はいはい、ちょっと、ん、自分で 生活費

〔対 NS 教師〕

収録日時：2001 年 7 月 16 日
収録場所：大学構内
話題：自己紹介 → 方言 → 寮生活 → 日本語学習を始めたきっかけ → 今後のこと

001JT：日本人は 名刺を 配ると ゆーのが 習慣なんです。
002EA：あー、はい。
003JT：{名刺を差し出しながら} と、JT と いーます。
004EA：あー、はじめまして。
005JT：はじめまして。
006EA：EA です。
007JT：EA さん。
008EA：はい、{名刺を見ながら}あー、言語学です。
009JT：そーです。日本語学とゆー、日本語言語学です。
010EA：はい。えーと、アメリカの、の 大学で、えーと、ちょっと 言語学の 授業、2つとりました。スペイン語の 言語学です。
011JT：ふんふん。EA さん、は、どち、どちらからいらっ、したんですか。
012EA：えっと、アメリカの ジョージア州から 来ました。
013JT：ジョージア州。
014EA：はい。
015JT：はー、向こーの 大学を もー 終わったんですか。
016EA：えっと、まだですが、と、今、{笑} 今 5 年生です。
017JT：5 年生
018EA：アメリカの 場合は よく、ふつーの 学生は、と、5 年後 卒業しますから、(JT：うーん) と、わたしの 場合は ここに 来ましたから、6 年後に なります、が、えっと
019JT：ふんふんふん、それは バチェラー、学位、学士ですか、学部を 卒業するのに 5 年かかるんですか。
020EA：はいはい、えっと
021JT：マスターコースではなくて。
022EA：ちょ、あ、はい、それは ふっつー [普通] の大学生にとって。あ、えーと、んー、アメリカの 場合は 日本と だいぶ 違うと思います。えーと、うん、そんなに 決めていません (JT：うん) から、えっと、ちょっと、とらなきゃい、いけません、あ、すみません、とらなければならない 授業があって、(JT：うん) ん、その授業は、えーと、全部とった あとは 卒業できます。(JT：ふーん) だから、ちょっと、ん、その 4 年間の プログラムと ゆーことが ありません。(JT：んー) ちょっと 自分で えっと、その 予定とか (JT：うん) ん、あの、作らなければなりません。
023JT：あーはーはー、なるほど。あの専攻は、どー ゆー 勉強を してるんですか。
024EA：えっと、専攻は、えっと、専攻は スペイン語ですが、副専攻は 日本語です。
025JT：あ、専攻が スペイン語。
026EA：はいはい。
027JT：そーですか。
028EA：はい
029JT：はーはー、えっと、スペインの、あの、ヨーロッパの スペインに 興味が あるんですか、それとも 南米のほーに 興味があるんですか。
030EA：えっと、うん、両方は 興味が ありますが、えっと、本当に スペインに 行きたいです。
031JT：はーはーはー
032EA：でも、いちばん 行きたかった 国は 日本でした。{笑} ここに＊＊＊＊。
033JT：{笑} それで、副専攻で。
034EA：んー。
035JT：ふーん。スペインに 行った こと、あるんですか。
036EA：行った こと、ぜんぜん ありません。残念です。ほんとに。
037JT：じゃ、まだ スペイン語を 使う 機会はないんですか。
038EA：えっと、あんまり、あ、きかい、その、あ、すみません、その場合は 「きかい」は どうゆー意味ですか。
039JT：使う機会、occasion。
040EA：あー、はい、わかりました。はいはい、えーと、その機会、まだ、えと、アメリカに いる 場合は、ときどき その機会が ありました。
041JT：ふん
042EA：スペイン語が 話す アメリカ人とか
043JT：えー